

静岡文化情報

# 街かど

No.6

1996.8



寄木細工・増田一太郎 作



# 駿府学のすすめ



駿河古文書会理事 黒澤 脩

## 駿府・静岡の発見

市内の中学生たちに、静岡についての感想を尋ねると意外な反応に驚きます。それは、「静岡なんてただの田舎だ」と思っている子どもたちがとても多いのです。どうしてなの、何故なの、と理由を聞くと、こんな返事が返ってきます。「静岡には、行く所がない」「静岡には、見る所がない」「静岡には、遊ぶ場所がない」と。これは、大変なことです。

しかし、他所から転勤して来た方々に聞くと答えは違います。それは「市街地からすぐ近くに山や川や海があって自然がとても豊かで楽しい」というのです。

そこで「駿府・静岡」をもう一度じっくり考えてみましょう。

江戸時代の「駿府」は、「東海道五十三次」の宿場の中では江戸と京都を除いては最大の宿場町と

して東海道の中核都市だったのです。江戸時代に東海道を上下する旅人たちは、駿府城下町の規模に驚いたのです。かと思うと華麗な浅間神社を「東海の日光」として称賛した貝原益軒もいます。久能山東照宮は、徳川家康公をお祀りする徳川家の聖地としても崇められていました。

さて、昔の静岡はともかく今の静岡を考えてみましょう。東名が走り、新幹線で賑わい、多くの人々が通過しても、ここには立ち寄りません。この現実、静岡市の活力にも反映します。もし、静岡が魅力ある色彩に欠けるとするならば、どこかに問題があるはずで、私は、このために「駿府学のすすめ」を提唱したいものです。それは、静岡市が持つ有形無形の魅力を追求し、市民が静岡市のことを学ぶことによって「静岡を愛する心」を育てることでしょう。

そうならば、他所の都市だけに魅力を感じること

▼ 東海道分間延絵図・府中（東京国立博物館蔵）



## CONTENTS

静岡市として残したい文化・創りたい文化④	
駿府学のすすめ	駿河古文書会理事 黒澤 脩…………… 1
文化振興事業費助成制度をご利用ください	
	静岡市文化振興財団専務理事……………和田 脩…………… 4
	市民の声「文化・ブンカ・Bunka」………自営業………池上 直子…………… 5
文化のルーツを求めて◎	
駿河指物の道	増田 一太郎…………… 6
がんばっています!!市民の文化活動……………	8
ステージに花咲くコトバ・声・スガタ	朗演「エトピリカ」……………
伝統文化に支えられて	北澤 勝磨……………
衣のあけぼの	安本 宏子……………
県舞台芸術センター「舞台芸術教室」……………	10
「8月のもよおし」静岡市立児童会館……………	11
「芹沢銈介にふれよう」 芹沢美術館……………	11
INFORMATION	
静岡音楽館AOI, 静岡市立児童会館, 静岡市文化振興財団……………	12
編集後記……………	13



## ● 残したい文化・創りたい文化

となく、肝心な自分の町を育てることを忘れ疎かにすることもなくなるでしょう。そのための作業が、「駿府・静岡の発見」であり「駿府学のすすめ」と考えています。

### 駿府・静岡の宝探しのすすめ

静岡の街や郊外を散策していると、見事な個性（静岡らしさ）がただ埋没されているのに気が付きます。これらを、一つ一つ掘り出して、みんなでやさしく磨きをかけていくことが必要なのです。ちょうど原石を大切に磨き、立派な「宝石」として魅力的なものに仕立てるように。

これからお話す静岡の歴史や文化の紹介はほんの一部です。まだまだ沢山の宝が、静岡市には埋もれ、それらが皆さんの足もとにあります。それを、あなたご自身で「見たり・聞いたり・歩いたり・試したり」して埋もれた静岡の宝を探してみましょ。う。

静岡市をよくよく観察してみると、実は意外にも素晴らしい文化の足跡が市内各所に散見しています。さりげない「木枯の森、建徳寺、梅ヶ島金山、宇津ノ谷峠、安倍城、丸子城、梶原山、谷津



◀空から見た静岡市  
(静岡市役所広報課)

の教会、葛の細道、蕨科の山間地」などに……。これらは、いずれも全国に通じる歴史的遺産といえるものです。しかし、これらの歴史的背景が知られていないために、その価値が認識されていないといつていいでしょう。

戦国時代の駿府は、今川氏が「232年の輝かしい歴史」、その後には、徳川家康の「大御所時代」が続きます。家康は、駿府において国際外交をリードし、諸外国からも多くの使節が駿府の家康を訪問しています。家康は、駿府の大御所として世界を舞台として活躍していたのです。家康の外交顧問として知られるウィリアム・アダムズは、家康の命令で建造した船をスペイン人の協力を得て、日本ではじめて太平洋片道横断に成功しています。

これが、「駿府大御所派墨（メキシコ）使節」としてメキシコの西海岸アカプルコに無事到着しています。日本はその後鎖国したため史料は少ないですが、家康の国際外交を彩る貴重な記録が海外に渡っています。このため、国外に今でも駿府の家康時代の記録が残されています。そんな中で、家康がイギリス国王ジェームズ1世に献上した鎧は、今でもロンドン塔の博物館に残されています

し、家康がスペイン国王から献上された置時計は、久能山東照宮博物館に今も保存されています。

駿府は、世界に通用した国際政治都市であった訳ですが、こうした文化を「冬眠状態」に置くことなく、皆で勉強をして駿府・静岡の魅力を発信したいものです。また幕末と明治初期の静岡も光り輝いていました。

▶夜空に花開く安倍川花火（静岡市観光協会）



それは、江戸幕府が崩壊すると、旧徳川幕府の組織の多くが静岡に移って来たのです。幕府の最高教育機関は「駿府学問所」となり、明治を支える優秀な頭脳集団がここに結集したのです。中村啓宇や渋沢栄一、それに学問所の米人教師クラーク先生の活躍は、札幌農学校のクラーク先生以上に注目されて良いでしょう。それは、日本の近代教育の魁として注目され、日本教育史に長く記憶されるばかりか、クラークは「国際交流の先駆者」とも言うべき人物でした。

ところで、歴史を繙いていくと、「エッ！ 静岡が？」ということが山ほどあります。例えば、そのいくつかを拾ってみましょ。う。

それぞれびっくりすることを、今川家時代と大御所時代に分けて見ただけで、まるで「玉手箱」から飛び出すように沢山あります。題して、これを「駿府・静岡はじめて物語」といたしましょ。う。

#### 今川時代：

京都は「応仁の乱」（1467-77）で焼け野原になりました。このため、プライドの高い公家さんたちは住む場所がなく、今川家を頼りに駿府に一時移り住みました。駿府を選んだ理由として、今川

## ● 残したい文化・創りたい文化

家が京都の公家と関係が深かったことに加えて、「富士山や三保の松原」を見るのが彼らの一生の憧れの的であったことも原因しています。

そんな事から、公家さんたちが持って来た京風化が普及しました。戦国時代の地方都市ではあまり見られなかった「茶・香・歌・蹴毬・能・連歌」などが駿府ではいち早く定着したわけですね。そんなことから、周防大内氏の「山口」、越前朝倉の「一乗谷」、駿河今川の「駿府」、これらは「戦国三大文化城下町」として光り輝いていたのです。

また今川家では、氏親が日本最初に「分国法」（法律）を制定しました。あるいは、武将として公文書に「判」を使用したのも今川家が最初です。この「判」の習慣は、一般化して私たちの日々の生活の中に取り入れられました。これは、今川家がルーツです。

#### 江戸時代：

そうかと思うと、家康の駿府大御所にはもっと驚くほど沢山の「はじめて」が駿府から始まりました。日本最初の打ち上げ花火やオランダ・スペイン・イギリスとの国際外交の発端も駿府でした。朝鮮から伝わった印刷機での出版も駿府が始まりです。中には、こんなものもあります。それは、タバコの「喫煙禁止令」を、家康が駿府から全国に発布しました。ところが、さすがの家康といえども守る人が少なかったといわれます。

また家康は、駿府に金座を造り、日本最初の通貨（駿河小判）を鑄造させました。これは今日の日銀券（お金）と同様全国で通用するものとなりました。かと思うと、金山の掟が日本で最初にできたのが梅ヶ島の日陰沢金山からです。

このようなことは書き出したらきりがありません。そこで、是非、そんな駿府・静岡の宝が積極的に静岡市の個性として生かされるために、市民ぐるみの「駿府学」を進めたいものです。

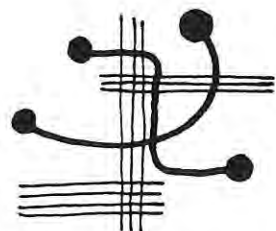
\* \* \*



## 文化振興事業費助成制度 をご利用下さい。

静岡市文化振興財団 専務理事

和田 脩



近年、市民の文化活動は多様化し活発化しています。一方、都市づくり、地域振興のためにも地域文化の振興は重要視されてきています。静岡市では、昨年、静岡音楽館AOI、中勘助文学記念館をオープンし、県事業ではありますが、舞台芸術のビッグ・プロジェクトが着々と進行している他、民間のホールやギャラリーなど、文化施設の充足化がみられます。またAOIでの国際音楽祭や県立美術館を初めとして、公共・民間の主催する多彩な催しもので市民の鑑賞の機会は多くなっております。

文化活動には以上のような鑑賞タイプと市民自らが実施する創作タイプに大別されますが、地域文化の高揚にあたっては、この双方の良好な活動環境が求められます。

そこで、今年度市民の皆様が自ら企画し実施する創作型の文化活動に対し、総額1,000万円の文化活動助成制度を設けました。

(財) 静岡市文化振興財団を事務取扱い窓口とした文化事業費の助成制度を設けました。この概要は次のとおりです。

### 1 対象事業

美術・音楽・文芸・舞踊・演劇等における公演会、発表会、展示会、講演会等で全市民を対象として開催するもの。及び地区大会等を経て、市民の代表として全国規模の大会に出場するなど本市の文化性を広くPRできるもの。ただし、文化活動であっても営利性をは

じめ政治的、宗教的宣伝意図を有する事業や恒常的な団体等の運営に関するものは除く。

### 2 助成対象団体等の要件

静岡市内に住所または活動の本拠を有し、かつ健全な組織運営態をなしていること。

### 3 対象期間

平成8年4月1日から平成9年3月31日の間に実施するもの。

### 4 助成額

懇親会費などを除く事業実施に要する直接

的経費から、入場料、参加費、静岡市以外から受ける補助金等の収入経費を控除した額の概ね2分の1以内で、100万円を限度とします。

### 5 申請受付

所定の申請書類を平成8年9月30日までに市文化振興財団へ提出。

### 6 交付決定

申請書類を審査会で審査のうえ決定。

### 7 問い合わせ

市役所7階、企画部文化振興課内 静岡市文化振興財団 TEL・FAX 255-4746

## ● 市民の声

### 文化・ブンカ・Bunka

自営業 池上直子



「文化について思う事を書いてください」と言われました。「文化と言っても広すぎますが」「絵や音楽などの芸術に関して」という事でした。「文化とは？」普段あまり考えた事のない私ですが、「シズオカ文化クラブ」という会に入っています。その会で先日、「パイプオルガンコンサートのお手伝いをしました。文化クラブ流（会員にしかわからない雰囲気ですが）にコンサートが進み、最後の出演者の方のごあいさつで「日本ではクラシックのチケットはお願いしなければ買ってもらえない」というお話をされました。それはどうしてでしょうか？ ①金額が少し高い！、もっとお手頃価格がいいな。②開演時間が早い！、仕事が終わってからでは間に合わない。③クラシックというとちょっと堅苦しいイメージがある！

いろいろなコンサートがあるのだろうが、一般的にはそう思いがちな。それに世の中

もっと楽しい遊びもたくさんあるし……、などいろいろあるでしょう。出演・主催する側が、一部の愛好者だけでなく、その他大勢の人達に、より興味を持ち、親しんでもらいたいと考えているのであれば、あまり型にはまらないコンサート企画があっても良いのでは。しかし、それは私が知らないだけで、「私達はこんな活動をしている」という方もいらっしゃると思います。が、そんな情報が、こんな私の所にまで届かないのです。

もっと市民活動のインフォメーションの工夫ができないでしょうか。どんどん情報が入ってくる事により、文化・芸術と言われる事がもっと身近に感じられ、お願いしなくてもチケットが売れるようになるのではないのでしょうか。



# 駿府指物の道

静岡市技能協会会長 増田 一太郎

静岡の地場産業は極めて間口が広く、主産の鏡台、針箱、棚物、厨房家具、文房具、雛具、盆箱物、台類、漆器等。これらの製品はいずれも指物工によって製品化されている。その技法は、親方から弟子へ、父から子へと受け継がれている。技法の一部は、時代の進化に伴い機械化されている。伝統工芸的製品は、手法技能により製品化されている。しかし、近年は一般的に指物の特殊技法の作品の需要は少量のため営業としては成り立たない。したがって、他の製品に移行せざるを得ない。また、後継者もない。ただ展示会等にて指物技法をアピールはしている。

伝統工芸技法保持者も高齢化し、次代を担う後継者の不足は今後の技法・保存・保管の面で大きな問題となっている。

## 駿河指物の初期

駿河指物の発祥については諸説があるようであるが、昭和35年(1960)に発行された『静岡漆器産業史』に次のような記述がある。

今川氏統治の時代から御器屋町に中川屋某、または、中川大工と呼ばれる一族があり、浅木(人名)御定器を製造し、慶長年中、徳川家康駿府城在城の時もまた御定器を奉り、寛永年間、大納言

忠長が退城の頃から衰退したと伝えられ、町名も一時は中川町といわれた。この当時から、漆器が盛んに製造されていたと記されている。したがって、漆器素地(塗る前の木地)指物師が多数居住していたことがうかがわれる。また、慶長年間、彦坂九兵衛文政の文書に、「草深の御器屋町衆とあるにより、もと草深ならんと伝えられる。御器とは食器なり」と記されている。(文献-『駿国雑誌』)

## 江戸末期から明治の指物

駿河指物で、今全く絶えているのが寄木細工である。寄木細工の歴史は古く、江戸時代に中国より長崎を経て、地方に本格的に伝えられたという。

静岡の寄木は、各種の木材の木曾(木目の層)にしたがい、厚さ五厘ないし三厘の薄板を、山水花鳥模様(かみ)に切り、接合したものを、所用の板に嵌入し、麻の葉亀甲形(きつこう) (着物の模様)山水花鳥の寄木象嵌が仕上げられている。寄木細工の盛況と共に名工が名を連ねていた。

明治6年(1873)

- 平屋町の山本安兵衛(下記の増田清吉の親方……山水花鳥の専門)
- 指定(増田清吉)両替町三丁目 山水花鳥の専門
- 指定(篠塚吉藏)七間町一丁目 方形の寄木専門
- 指定(木村貞次郎)上石町二丁目 名倉形専門(名倉は波のこと。波の模様)
- 指清(柴田清吉)本通九丁目 山本安兵衛の弟子。模様物専門。
- 指茂(高木某)七間町二丁目 普通物専門——多量生産
- 奈順屋(奈順屋新吉) 丸柱に寄木象嵌

寄木に使用する用材は、漆、黒柿、榎、柎、楸、蘇木(そでつ)、紫檀等が用いられていた。また、寄木細工の下絵画廊、画家桃木太撫の名が出ている。

以上『静岡木漆産業史』より

▲寄木細工の浮世絵



明治の名工指定の増田清吉は私の祖父である。私の父も祖父につき寄木細工を継承した。祖父の仕事を見たとき、はっきり覚えているのは、私の小学校一年か二年生のころである。埋もれていた寄木細工を掘り起こすことを志し、93歳の今、楽しく毎日、寄木と取り組んでいるが、材料となる木材が、今日では入手が困難で、思うように手に入らないのが残念である。工法は父からの聞き覚えで手さぐりで進めている。

次に、伝統工芸技法の今後については、いかにして後継者に引継ぐかである。往時の名工の作品は、静岡大火と戦災によりほとんど失われ、参考となる作品がない。今後の伝統工芸技法の発掘と伝承の資料として、もし出来れば、累代伝わる旧家の蔵等の隅に、塵にまみれている昔の作品等発掘し、市が公費で買上げ、保存していただければ幸いであるが、実際問題としては難しいと思う。

ただし、今、市当局が、最近発表した後継者養成と産業振興を目ざした、クラフトデザインアカデミーの学校設置の構想がある。県内外から生徒を募集して、木工技法を習得させるという考えである。石川県金沢の漆器はこの方式で、毎年伝習生を送り出している。一日も早く実現して、静岡指物伝統工芸技法の後継者養成を成功させたいものである。

## ● 増田一太郎氏プロフィール

大正6年4月、学校卒業後、父直次郎に師事し木工技能を磨くとともに、木工所経営について学び、大正10年4月、増田木工所を設立、当初は鏡台の製造販売を手がけたが、順



▲製作中の増田氏

次生産品目を増し、販売の拡大と生産量の増加に努め、成果をあげた。

昭和28年、静岡家具工技能者養成所長を皮切りに、県職業訓練法人連合会会長(昭54年) 全国共同職業訓練中央協議会副会長(昭52年) 静岡市技能協会会長(昭49年) 全国職業訓練中央会副会長(昭54)、県職業能力開発協会会長(昭62年)等々、責任ある要職に就き、一貫して職業訓練の充実発展に尽くし、今日の地域における職業訓練発展の基礎を確立し多大の貢献を果たした。

その功績を認められて、静岡市長感謝状(昭31年-技能者養成功労)、県知事表彰状(昭44年-職業訓練功労、昭45年-産業開発功労)、静岡市長表彰状(昭46年-産業開発功労)を授与される。そして、昭48年4月29日、勲五等瑞宝章を授章した。



## ステージに花咲くコトバ・声・スガタ

### 朗演「エトピリカ」

ひたむきに演じ続けて10周年を迎える朗演（ROHEN）エトピリカ。今年も県内外で6回の公演をします。朗演と言う言葉の生みの親、演出家の佐野暁氏は言います。「朗演とは——朗読に演劇の面白さを加えたステージ表現の事」と。演者が作者の心を感じ取って、作品に合った効果的な表現方法で皆様に味わって戴こうという試みなのです。一人芝居、朗読、語り等、全てを抱え込んでしまう表現。これが朗演の面白さなのです。

8人の演者が8つの作品を、各々の色合いや味わいが楽しめるように創り上げます。是非一度会場へお出掛け下さい。お会い出来るのを楽しみにしています。—エトピリカ—同より—。

#### 日程

平成8年8月25日 三島市民文化会館小ホール。

平成8年10月13日 浜松市福祉文化会館ホール。

平成8年11月20日 東京新宿シアターモリエール。

平成9年2月22、23日 静岡市サールナートホール。

問い合わせ先 ☎054-283-2648 遠藤、☎054-259-0791 スタジオ ☎03-3723-2643 清水



▲ KOTODAMA「通夜」1994

がんばっています!!

## 市民の文化活動



## 衣のあけぼの

### 登呂古代機織りの会 安本宏子

着物というものは、自分が暑さ寒さをしのぐために着るものであるけれども、また、人に美しく見せるために着るものでもある。昔から布を織る人・染める人は、そのことを念頭におき、着る人を美しく満足させるために織りや染めに心をこめ仕事に励んで来た。

この緑の時期に一番美しく、また似合う風景はかすり紺である、純粋な久留米、伊予など地域により独特な紺がある。毎日毎日使っても、洗いざらして廃物になっても、その色あいの美しさを美術品と



▲ 弥生の布を織る安本氏

して残したくなる。泥に対して非常に強く、紺（藍）の匂いを蛇がきらい、畑の中で安心して仕事が出来るとして最速である。このような文化、生活の智慧がすっかり忘れられてしまった。

こんな時、私に感動をあたえてくれたものが弥生の織物である。登呂遺跡からたくさん出土された機織具と布切である。これに魅了されてしまった。なんとか弥生の布を織上げてみたいと現在特訓中である。

繊維は麻、昨年山に入り野生種のカラムシを採集し、糸にし、織り上げていくのである。四季の自然の中での共存共栄の農耕民族の織の文化は、炭化されて出土された布は、技術も心情もなにも教えてくれない。素直に考えれば、単純なことかも知れないが、私たちの生活の不純さと文化性が災いしているのかも知れない。弥生の人たちの生き方は、はかりしれない事だが、一步一步と弥生に織られた布に近づいてゆきたい。

千年の昔から毎年伊勢湾を渡り伊勢神宮に献上される布を織っている初生衣神社の織殿から聞こえてくるハタ織の音を聞くと、耳が聞こえなくなると言われているこの言葉は、私たちになにを言い伝えているのだろうか。厳しい労働の中で愛する人のために織るこの心暖まる心が、一層美しく布を織らせているのではないだろうか。

## 伝統文化に支えられて

### 静岡市峰山 北澤勝磨

私の住む清沢地区には、民俗芸能の湯立て神楽が伝承されています。いつの時代からかはっきり分りませんが、山里に住む人々の心の支えとして現在まで色々な障害に会いながらも多少形を変え、その時代に適応しながら伝えられて来たのだと思います。

神楽の夜は、その闇が舞台空間を演出してくれず。森の草木がささやき、月の光が篝火が舞人

を照らし出します。人々を幽玄の世界に誘います。神々との交信は、夜明け近くまで続きます。藁科の山々は、数百年も昔から笛の音や太鼓の響きを聞いているのです。山里だからこそ、そこに住む人々の豊かな心が神楽を支え神楽に支えられて、豊かな心を持ち続ける事が出来るのです。人々は、昔駿府の水田地帯に、豊かな水を供給する水源の山々を聖地としてあがめ、神を祀り神楽や田楽を奉納したのです。

小学生の頃私は、囲炉裏端でキセルをくわえながら話す祖父の話を聞きました。「この向こうの山を一つ越えた所の村にゃあ笛の名人が居て、その人が笛を吹くと智者山の天狗が降りて来たそうだ」

この話を聞いて、僕も天狗を呼べる笛吹きになりたいなと思い、現在まで30年間神楽に取り憑かれてしまいました。

私は、神楽のよさを少しでも早く知ってもらおうと小学校一年生から中学生まで10数名の子供たちに笛を教えて3年になります。第2土曜日の夜を練習日と決め地元の集会所へ集まります。

何世代も前から脈々と伝えられて来た伝統文化を、この子供たちは、きっと明日へ伝えてくれるでしょう。水源の山里が主役になる日を夢見て。



▲ 峰山小児童の練習風景



# 県舞台芸術センターが

## 「舞台芸術教室」を開催

### 舞台芸術を通して新しい静岡文化の創造

みなさん、最近「舞台芸術」という言葉を耳にすることがあると思いますがご存じですか？

舞台芸術は、人間の生身の肉体が媒体となっている芸術表現で、一般的にはダンスやオペラ、演劇などがあげられます。そして、その最大の特徴は、演ずるものと見るものが一緒になってある特定の時間と場所を共有しながら楽しむところにあります。

静岡県は今、舞台芸術を通して、地域の生活文化を高めるとともに、世界に開かれた新しい静岡文化の創造を目指しています。

昨年7月に設立された財団法人静岡県舞台芸術センターは、こうした舞台芸術を県内でより一層



▲ 鈴木忠志氏から演技指導を受ける参加者

活発なものにするために、いろいろな活動に取り組んでいます。

### セミナーと実技指導で鈴木ワールドを体感

5月25日(土)、静岡市寺田の長田公民館で、「舞台芸術教室」が開かれました。この催しは、県舞台芸術センターが舞台芸術活動に携わっている人々との対話と交流を図る場として企画したものです。

当日は、地域劇団、バレエ団の団員や舞台芸術愛好者など約120人が参加。第一部の公開セミナーでは同センター芸術総監督で演出家の鈴木忠志さんが「芸術活動の新しい役割と目的」をテーマに講話を行ったほか、静岡音楽館AOI市民会議議長の

大久保満男さんと対話形式で現在の芸術文化事情について語り合いました。

鈴木さんは、東京では文化

は生きられない、と早くから地方に目を向け、自分の劇団の活動拠点を富山県の山里、利賀村に移してこの20年間、地域の文化改革を実践してきました。

「新しい文化活動は地方から発信しなければ…」と話し、「人間本来がもつ身のエネルギーを磨き、ぶつかり合うことが舞台芸術です。そして、生きていることを楽しむこと、人間関係を豊かにすることが文化になるのです」と、舞台芸術の必要性を熱っぽく訴えました。

鈴木さんの語り口からは、今回自分の故郷である静岡県の舞台芸術振興構想に芸術総監督として携わることに強い意気込みが感じられ、参加者もメモを取るなど熱心に聞き入っていました。

第二部の実技入門では、市内の劇団員やバレエ団員など27名が鈴木さんと劇団「SCOT」の俳優から舞台の立ち方、基本的な歩き方などの指導を受けました。

能や歌舞伎など古典芸能の中にあるエッセンスをもとに編み出した独特の「演技訓練法」に初めて触れた参加者は、ハードな内容にびっくりした様子でした。しかし、演技に対する新たな出会いは、大いに勉強になったようで、「機会があれば、また参加したい」と感想を述べていました。

同センターは、舞台芸術の振興と人材育成を目的に、今後も県内各地でいろいろイベントを開催していく予定です。皆さんも一度足を運んで舞台芸術との時間を共有してみたいはかがですか。



▲ 長田公民館で行われた公開セミナー



## 児童会館だより

▼お問い合わせ  
(☎054-252-6161)

### サイエンスショー

《1階サイエンスフロアー》

8月11日(日) 13:30~15:30~  
「超低温の世界3」  
8月25日(日) 13:30~15:30~  
「ボトルがぐしゃり」

### 手づくり工作

《2階実習室》

8月18日(日) 13:30~  
「プロペラ自動車」

### 8月のもよおし

#### 第24回夏休み子ども大会

8月6日(火) 9:00~12:30  
「子ども将棋大会」  
8月8日(木) 9:00~12:00  
「手作り工作コンテスト」  
8月10日(土) 14:00~15:30  
「子ども科学体験広場」

#### 子ども映画会

《2階ホール》  
8月11日(日) 13:30~  
アニメ「おかしなおかしな星の国」  
8月24日(土) 13:30~  
科学映画「宇宙へ行く夢と冒険の旅」  
(小学生以上向き)

#### 星をみる会

《屋上天文台》

8月10日(日) 18:30~20:30  
8月24日(土) 18:30~20:30  
「天の川と夏の星座」

※当日、雨や曇りで実施できない場合は、翌日の同じ時間に実施します。翌日が実施できない場合は中止します。

### 静岡市が世界に誇る

## 芹沢銈介にふれよう

静岡市立芹沢銈介美術館



### ■ 銈介さんって どんな人ー？

静岡市で生まれ、絵をかくことを好み、それをもとに着物や帯、屏風やのれん等の染物を多くつくりあげました。沖縄の「紅型」という染物の美しさを研究してつくった染物は、さらに温かで、親しみある美しさになっていきました。

図案づくりから染めあげまで、一人でやり通しましたので、形や色に独特の美しさが生まれました。(「型絵染」といいます。)

また、「使うものにこそ美しさがある」と主張し、世界各国から多くの工芸品を集めました。(「芹沢コレクション」と呼ばれています) 一生を美しい染物づくりにささげ、「人間国宝」として認められました。また、静岡市の名誉市民でもあります。



(1895~1984)

### ■ 芹沢銈介美術館(石水館)の すばらしさは――

登呂遺跡公園の中にあり、石を積んでつくり、真中の池をとりまいて、展示室があります。厚くどっしりとした壁、手おで削りあげたナラの木の天井、不思議な雰囲気八角堂など、しっとり心が落ち着きます。

またの名を「石水館」といい、建築家であり哲学者でもあった白井晟一氏の設計で有名です。

- 是非 おこし 下さい
- 第44回展 「芹沢銈介コレクションより」
- 日本の仕事着―刺子・裂織・革羽織―
- 会期 平成8年6月14日(金)~9月23日(月)
- (月曜日、祝日の翌日は休館)

▶ お問い合わせ

### 静岡市立芹沢銈介美術館

〒422 静岡市登呂五丁目10番5号

TEL054 (282) 5522・FAX054 (282) 5510



**INFORMATION**

● **静岡音楽館AOI '96秋のシリーズ**

▶ 8月20日(火) 発売

問い合わせ先: 静岡音楽館AOI (☎054-251-2200)

開催月日	公演内容	入場料
10月17日(木) PM 7:00	長谷川さち子とベルリン・フィル・トリオ	全指定 4,000円
10月23日(水) PM 7:00	エレナ・ブリリョーワ ソプラノ・リサイタル	全指定 3,000円
10月25日(金) PM 7:00	渡邊順生 チェンバロ・コンサート	全自由 2,500円
10月27日(日) PM 2:00	静岡の名手たち ～オーディション合格者によるコンサート	全自由 1,500円 高校生以下 1,000円
10月29日(火) PM 7:00	ファビオ・ピオンディとエウローパ・ガランテ	全指定 4,000円
11月3日(日) PM 3:00	民俗と都市の芸能	全自由 3,000円
11月9日(土) PM 7:00	ヴィクトリア・ムローヴァ ヴァイオリン・リサイタル	全指定 4,000円

■チケット取扱所: 静岡音楽館AOI 7階受付, すみや本店, 静岡谷島屋本店, JR東海静岡みどりの窓口, チケットセゾン

11月23日(土) PM 2:00 ~3:30	大岡 信 「折々のうた」こぼれ話	無料 講堂(7階)
----------------------------	---------------------	--------------

■問い合わせ先: (財)静岡市文化振興財団 (☎054-255-4746)

● **静岡市立児童会館——8月の企画展示**

《3階子どもギャラリー》

開催月日	展示内容	入場料
8月3日(土)~8月27日(火)	世界児童画—静岡展	無 料
8月30日(金)~9月8日(日)	静岡市公私立保育園絵画展	無 料

▶ 8月の休館日: 5日(月)・12日(月)・19日(月)・26日(月)

問い合わせ先: 静岡市立児童会館 (☎054-252-6161)

● **Hotひといきコンサート**

「ジャズ・ジャズ・フュージョン」

と き/10月2日(水)・3日(木)・4日(金)の12:00~13:00

と ころ/静岡市役所新館1Fラウンジ

問い合わせ先: (財)静岡市文化振興財団 (☎054-255-4746)

さわやかレジャー  
**KEIRIN!**

レジャー多様化の今、  
ケイリンも大きく変わります。  
誰もが安心して遊べる競輪場!!  
エキサイティングなレースの中に、  
大きな夢があります。  
とくに静岡競輪場は、  
全国屈指のレジャースタジアムです。  
10月から待望の  
車番制投票をはじめます。  
乞うご期待!!

**静岡**  
けいりん

静岡競輪場の収益金は、市の財政に大きく  
寄与しております。(平成7年収益金39億円)

**編集後記**

通勤途上の濠端<sup>ほりばた</sup>で、咲き誇っている金鶏菊を眺めておりましたら、その花の根もと近くに、水辺への降り口がありました。

特別に整地されているわけでもなく、花も気ままに咲き乱れていて、取り立てて述べるほどの風景ではありませんが、昔の生活の延長がそのままそこに生きているような気がして、ある一種のうれしさがこみあげてきました。

今回からしばらくの間、『街かど』の編集を、何気ないたたずまいの中にある生活を見つめたいと思います。ご意見、ご要望、情報等をお寄せください。

静岡文化情報『街かど』 第6号

平成8年8月1日

編集・発行

(財)静岡市文化振興財団

〒420 静岡市追手町5番1号

(市役所7F)文化振興課内

TEL・FAX (054) 255-4746

印刷

株式会社 三 創

静岡市中村町166-1

禁無断転載・複写





SAPPORO

# おいしい条件。

工場が近いから新鮮/水がいいからうまい!  
静岡・県産・黒ラベル。



サッポロ<黒>ラベル

# 喉 駆けぬける ごし。

ビールは、20歳になってから。 サッポロビール株式会社



70名様 149万円

ご婚礼懐石料理「禄」をご利用で70名様の場合。  
お料理、お飲物飲み放題 (乾杯用シャンパン・ビール・日本酒・ウイスキー・焼酎・ジュース・ウロン茶・コーラなど)、ウェディングケーキ、キャンドルサービス、メインテーブル及び各装花、ご披露宴会場、ご両家控室、挙式、記念写真 (集合、お二人、お色直しの3点各2枚)、ご招待状70枚、挙式案内20枚、席次表70枚、席札、芳名帳、サービス料、諸税込。

上質な雰囲気とサービス、贅沢な懐石料理でのおもてなしを旨とする浮月楼ですが、料金については、きわめてリーズナブルな価格でご用意しています。ご予算も含め、ご婚礼についてお気軽にお問合せください。

緑の中の結婚式

## 浮月楼

徳川慶喜公屋敷跡・静岡市紺屋町

☎054 (252) 0131

心に残る婚礼を  
十五代将軍、徳川慶喜公の屋敷跡として歴史ある庭園を今に残す浮月楼。先ずは庭に出ていただきたい。頬にそよぐ、野鳥のさえずり。街のまんなかにいることさえ、ふと忘れてしまうような、そんな閑静で穏やかな空気があたりを包んでいます。きつと、お二人の想い出のワンシーンになることでしょう。一つ一つがさりげなく、美しく、印象的な結婚式。いつまでも心に残る一日を、浮月楼から。

### ガーデンウェディング

東海の名園と謳われる浮月楼の庭で、人前結婚式はいかがでしょうか。それは季節の色に彩られた庭園を借景に、親しいご友人・知人に囲まれての心あたたまるウェディング。ウェディングドレスにはフラワールーチ、白無垢には金屏風と演出も自在。庭園の美しさ、爽快感がお二人のよき日に清々しい祝福の風を送ります。

